

### 第3魚沼市観光振興戦略推進委員会実践部会 議事録

1. 会議名称	第3回魚沼市観光振興戦略推進委員会実践部会
2. 開催日時	令和3年11月15日(月) 14:00~15:30
3. 開催場所	魚沼市役所本庁舎 301会議室
4. 出席者	<p>&lt;推進委員&gt; 樺澤正人委員長、藤島淳委員(統括アドバイザー)</p> <p>&lt;実践部会員&gt; 山田智之部会長、山田明美副部会長、高橋亜由美部会員、大野拓也部会員、大平明部会員、目黒公司部会員、渡邊智恵子部会員</p> <p>&lt;事務局&gt; 観光課 鈴木課長、皆川係長</p>
5. 議題	<p>(1) 魚沼市観光振興計画の政策目標・基本方針・基本政策・数値目標の修正部分の確認について</p> <p>(2) 魚沼市観光振興計画の基本方針・基本施策の策定、数値目標について</p> <p>(3) アクションプランについて</p>

#### 次第1：部会長挨拶

##### 山田部会長

まずは観光振興計画について、部会員の皆様にもご協力いただき、全体像が見えるところまで進んでいる。限られた時間の中でご対応いただき、感謝申し上げたい。今後、予定する市民へのパブリックコメントや市議会への報告等について、事務局よりスケジュールの説明をお願いしたい。

(事務局より以下スケジュールを説明)

- 11/30 庁議(市長含めた部長級会議)に計画とアクションプランを提出
- 12/14 議会(産業厚生委員会)へ報告
- 12月下旬 市民向けパブリックコメント
- 1月 第5回委員会開催(集まった意見を基に修正内容を協議)⇒庁議へ提出
- 2月 最終案を議会へ報告
- 3月 成案

#### 次第2：議事

(1) 魚沼市観光振興計画の政策目標・基本方針・基本政策・数値目標の修正部分の確認について

## 山田部会長

前回（10月4日）会議では、観光振興計画の政策目標や基本方針、数値目標等について重点的に協議させていただいた。前回の皆様のご意見及び書面でのご意見を含め、本日は修正箇所について確認いただきたい。次に本計画を進めていくための推進体制について協議いただき、最後に前回の協議内容とアイデアをもとに、事務局と調整しながら具体的なアクションプラン案を取りまとめたので、こちらについても協議を進めたい。それでは、議事（1）魚沼市観光振興計画の政策目標・基本方針・基本政策・数値目標の修正部分の確認及び（2）魚沼市観光振興計画の推進体制について、事務局より説明いただきたい。

（事務局より説明）

## 樺澤委員長

私から事務局説明に補足したい。「地域ブランド調査2021」の結果についてである。新聞報道等で47都道府県版が出ているが、同時に全国市区町村を対象にしたデータも取っている。魚沼市は本県内で3冠（魅力度、情報接触度、産品想起率（食品））を達成した。この点ではあまり市民にも知られていない荣誉ある賞をもらっている。新潟県は魅力度を都道府県で見ると22位だが、市区町村別にみると一番上でも64位。しかしながら認知度や観光意欲度では市町村別で3桁代の順位なのは改善したいところ。産品想起率（食品）は魚沼市が本県内トップだが、ベスト10には入っていないのは残念。そのほか食品以外では陶器などの分野で、本県内では全国7位の燕市が健闘している。魚沼市と似た地域（温泉地等）の観光意欲度について比較したい。日光や箱根など高い数値の地域もある。本市よりも少し上の数値である黒部市、飛騨高山などに追いつけば、観光意欲度も100位を切れるのではないか。全国のランキングで産品想起率（食品）では県内トップは変わらないが、全国市町村別ではその食品のランキングが落ちている。心配なのは魚沼産コシヒカリがランクを落としたともとれるため、危機感を持つべきともいえる。その意味で新しく「コシヒカリのまち」として価値があるということを発信していきたい。

## 山田部会長

ありがとうございました。それでは今ほどの事務局説明について、ご意見ご質問等あるか。

## 渡邊部員

誤字について、いくつか指摘したい（以下、誤字部分の指摘）。

## 山田部会長

ご指摘ありがとうございます。そのほか意見等はあるか。それでは次の議論へ進めたい。

### （3）アクションプランについて

## 山田部会長

それでは、アクションプランの位置付けについて、事務局より説明をお願いしたい。

（事務局より説明）

### 山田部会長

具体的なアクションプラン案について、今ほどの事務局説明に意見や質問はあるか。大平部会員いかがか。

### 大平部会員

サクラクオリティについて、取得する宿に伺ったことがある。資金力がないと上のレベルは取れないとのことだが、入ってない旅館からは応募しないとの声も出ている。比較されてしまうことを危惧するとのこと。これは誤解で、まずはサクラクオリティに取組んでいることをアピールするのが必要と感じる。

### 山田部会長

ご意見ありがたい。他に、大野部会員いかがでしょうか。

### 大野部会員

受入環境のデジタル整備について、SNS 発信を積極的にされる事業者が多い。ただ、年配客が多く SNS をやっていない利用者は、Google 検索を多く利用する。その Google 上の営業時間や休業日を修正しないところが多い。自分は商工会員を巡回するときに呼びかけをしているが、市内全体で IT リテラシーを高めていく必要があるのでは。また、若い人はこれから紙ではなくデジタルマップの活用が進んでいくため、知識の底上げも重要ではないか。

### 山田部会長

仰る通り、そういった細かいところも整備する必要があると感じる。他にどうか。

### 高橋部会員

魚沼産コシヒカリについて、お米も良いがホルモンや山菜、そのほか都会で食べられない地元料理など、コシヒカリ以外もおいしいしアピールできるのではないかと考える。また、小出郷文化会館に行って素のチカラのポスターを見たが、華やかな景色の発信はやはり注目されると考える。

### 樺澤委員長

ご意見ありがたいが、今の意見に補足したい。決して地元産品をないがしろにするわけではない。観光客への意識やブランドへの意識をもう少し高めたらよいと考える。コシヒカリ以外のおかずもおいしいとのことだが、魚沼産コシヒカリは日本各地どんなポテンシャルのものも受け入れる力量があると考えても良いのでは。主役はコシヒカリ、というコンセプトは変えない。もちろんそれ以外の食品をないがしろにすることではないが、ブランド推進として誤解をしないほしい。

### 山田部会長

ありがとうございました。他に、目黒部会員どうか。

## 目黒部会員

観光産業も含めた日本全体での人口減少の中、魚沼市内での滞在時間を増やすことが重要ではないか。滞在できる場所として本市では奥只見、そして須原あたりがまずは候補であると考えている。例えば紅葉時期以外の奥只見や、目黒邸で15分程度、ゆきくら館で30分程度滞在した後の須原などでも、「滞在させる」という意識で観光地を整備したい。そのほかインバウンド対策として台湾などをあげるとすると、コロナ前は只見線は人気があがっていた。みなかみ町は台湾との交流実績もあるようだが、只見線につながる会津でも交流実績はあるようである。そういったところへの情報収集に加え、只見線を活用し会津への来訪客なども視野に、魚沼市にも周遊していただくのも良いのでは。只見線はインバウンドへのキーワードとしての誘客力もある。

## 山田部会長

貴重な意見ありがたい。他に、渡邊部会員どうか。

## 山田（明美）副部会長

アクションプランについて、魚沼市のロケーションや見た目にこだわるのは大切に感じる。目黒邸などで食事できるなど、どこで食べるかも重要と感じた。トレッキングと食事がセットとして、体験メニューなどであると更に良い。実際に私たちが山を登るなど、利用することも、初歩だが大切。

## 樺澤委員長

いろんなことを考える上では、「ペルソナ」を意識することでシャープになるのではないかな。もちろん魚沼市で滞在時間が短くなる、近隣市町村の観光施設へ移動してしまうという意見はある。そういった意見の前に、まずは来てほしい人を定めて、その人が来てくれるようなことを考える。よく行政がこういった場でやりがちなのは様々な意見をまとめて実施してしまうこと。それをやると誘客効果が弱くなる。明確に決めることで、ポテンシャルが大きい魚沼市を、より効果的にアピールできる。

## 山田部会長

ありがとうございました。では、藤島委員どうか。

## 藤島委員

興味深い意見をありがとうございました。ここの場は実践部会なので、ぜひ実際に行動に移していきたい。どれだけいい企画がでて実践しないと手遅れになるタイミングでもある。いかに魚沼市がブランド評価されていても、相当な部分、南魚沼市の活動にサポートされている。「魚沼」の名前が売れていくことで悔しい思いをし、巻き返してくることを考える。これからは「南魚沼」の名前をもっと出そうとなったとき、魚沼市が負けたくないという思いもある。例えば鈴木課長のもと、大平さんと組んでサクサクオリティのPRプロジェクトを魚沼市内全体で進めていくこともできる。商工会の大野さんのところでは、スマホ誘客プ

プロジェクトを進めてもらい、スマホを使って飲食店などで誘客をするために基本事項やスマホを意識したHPの推進など。高橋さんはコシヒカリだけでなく地元料理と組み合わせた方が良いというのはその通り。目黒さんは只見線というすごい資産に目を付けているので、只見線台湾誘客プロジェクトをすぐに立ち上げて行動してほしい。只見線×お米食べ比べなど、お米と只見線を両方満たすのも可能性がある。山田さんは、コシヒカリのおにぎりを持ってトレッキングに行こうなど提案できる内容もある。問題意識を持った中で、出来ることはたくさんある。山田部会長がPRし続けた滝雲がオーバーツーリズムをしているなど、やればできることはたくさんある。ご自身の所属する組織や問題意識のなかで、鈴木課長を座長として樺澤委員長の知見を聞きながら、直ぐに出来るところから取り組んでいただけたらありがたい。

#### **山田部会長**

貴重な意見ありがとうございました。今後も事務局と調整し、年明けに向けて本計画を調整していきたい。

### **次第3：閉会にあたり**

#### **事務局（鈴木）**

貴重なご意見をありがとうございました。藤島さんからも意見いただいたが、過去にも類似計画が作られたが実践に繋がらないこともある。これが机上の空論で終わらないよう、また実践部会の皆様、それ以外の方も含めて、引き続きご尽力いただきたい。

以上